

令和 6 年 度

精 華 高 等 学 校

第 1 6 回 学校評価結果報告書

I 学校経営計画

II 学校評価

(1) 教職員自己評価

(2) 保護者自己評価

III 学校協議会

IV 総合評価

V 資料

精華高等学校 学校評価委員会

I 学校経営計画

校長 正川 昌彦

(1) 本校が目指す学校像

- 1 建学の精神および教育目標（自立・協調・創造）に基づき、生徒の可能性を最大限伸ばす教育を行う。
- 2 生徒指導を充実させ、基本的生活習慣の確立とマナーの向上をめざす。挨拶がしっかり出来て、美化意識の高い生徒を育成する。
- 3 きめ細かい進路指導の下、生徒の多様な希望進路を実現する。
- 4 各コースの教育内容の充実・発展をめざす。また、各コースの特徴を強く打ち出すと共に専門性を高める。特に探究授業に特徴を持たせ、生徒の主体性を伸ばす教育を行う。
- 5 SG コースを中心に、大学進学実績を向上させる。
- 6 部活動を活性化させ、その活動を通じて地域社会に貢献する。芸術・文化・スポーツ活動の盛んな高校をめざす。

(2) 中期的目標【到達目標として】 (Do)

- 1 日々の授業を充実させると共に、生徒に将来の目標を持たせ、意欲的に学習に取り組む環境を整える。
- 2 本校特別強化クラブである吹奏楽部を中心に、強化クラブである硬式野球部・サッカー部・卓球部・剣道部・演劇部・女子バスケットボール部の強化をめざす。
また、他の運動部・文化部においても、活動の活性化を図る。それらの活動を通じて地域社会に貢献して行く。
- 3 NS コース
高校生としての自覚を持たせ、生徒の基本的生活習慣の確立をめざす。落ち着いた雰囲気の中で授業を受ける体制を作り、日々の授業を大切にする生徒を育てる。各自の進路に結びつく基礎力・応用力を身につけさせる。
- 4 SA コース
勉強・部活動ともに頑張る生徒を育てる。各自自己をしっかり分析し、それぞれの将来像を描かせる。
- 5 i-Tech コース
情報社会で主体的に活躍できる人材の育成をめざす。情報に関する検定を受験させ、コースとして合格率 80%以上をめざす。
また、情報の専門性を高め、情報化社会に対応出来るスキルを持った生徒の育成を図る。希望進路を実現する。

6 環境福祉コース

高校生としての自覚を持たせ、主体的に物事に取り組む姿勢を育む。納得より理解が出来る、また、相手の立場を考えることの出来る生徒を育てる。丁寧な言葉遣いが出来る、美化意識の高い生徒の育成を図る。

7 SG コース

全学年において、確実な学力の担保を図り、大学進学実績の向上をめざす。SG コースにおいては、多様なカリキュラムを通じて実力を養い、さまざまな分野に興味・関心を持つ生徒を育てる。具体的には関関同立・四女子大学の合格者を複数出すことをめざす。

8 フリーアカデミーコース

特色ある授業や体験実習を通じて、素直で思いやりのある心を育てる。多様な問題を抱える生徒、一人ひとりの状況に寄り添い、学校生活を楽しく送ることが出来るような環境を整える。

一人も取りこぼさず、進級・卒業をめざす。コースの基礎を確立する。

9 学校施設・設備の充実を図り、清潔・安全な学校をめざす。生徒の美化意識を高める。

保護者・生徒からの要望の強い食堂の抜本的な改革を、引き続き検討して行く。

10 広報の充実・強化、ホームページの更なる充実を図り、本校の魅力を積極的に発信出来る体制を確立する。

SNS 等による情報発信を、部活動だけでなくコースの教育内容を含めて強化する。

Ⅱ 学校評価

(1) 教職員自己評価 (Check)

《参考》①～⑩については過去 10 年間の結果です。

結果) 00.0%は令和 6 年度の調査結果です。

①2014 (H26) ②2015 (H27) ③2016 (H28) ④2017 (H29) ⑤2018 (H30)

⑥2019 (R 1) ⑦2020 (R 2) ⑧2021 (R 3) ⑨2022 (R 4) ⑩2023 (R 5)

* 調査結果の%表示については、すべて小数点以下を四捨五入した数値です。

■学校運営

◆私学の独自性

* 建学の精神 (教育目標) について

〔設問〕 建学の精神 (教育目標) が教職員、生徒、保護者など、学校関係者によく浸透している。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 43.2%

推移) ①35% ②45% ③44% ④39% ⑤29% ⑥40% ⑦25% ⑧47% ⑨29% ⑩46%

* 愛校心について

〔設問〕 教職員、在校生、卒業生は学校に誇りを持っている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 56.8%

推移) ①35% ②43% ③32% ④34% ⑤21% ⑥30% ⑦25% ⑧37% ⑨24% ⑩35%

◆教育課程

* 学習指導要領の対応状況

〔設問〕 教育課程は学習指導要領に沿っている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 97.3%

推移) ①93% ②90% ③87% ④89% ⑤91% ⑥83% ⑦89% ⑧87% ⑨83% ⑩86%

〔設問〕 年間を通じた教育計画を各教科別に立てている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 91.9%

推移) ①35% ②45% ③44% ④39% ⑤29% ⑥40% ⑦86% ⑧80% ⑨88% ⑩92%

◆教職員連携

* 教員・教科間連携状況

〔設問〕 教員間・教科間の相互理解がなされ、信頼関係に基づいて教育活動が行われている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 78.4%

推移) ①33% ②48% ③47% ④39% ⑤35% ⑥53% ⑦61% ⑧57% ⑨64% ⑩68%

***教員と事務職員の連携状況**

〔設問〕 教員と事務職員の情報交換の機会があり、相互理解、連携はとれている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 45.9%

推移) ①42% ②50% ③42% ④42% ⑤50% ⑥47% ⑦68% ⑧57% ⑨62% ⑩54%

***会議の有効性**

〔設問〕 教職員会議をはじめ各種会議が、有効かつ効率的に機能している。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 29.7%

推移) ①33% ②23% ③29% ④26% ⑤23% ⑥17% ⑦36% ⑧20% ⑨29% ⑩41%

◆財務関係

***財務に関する意識**

〔設問〕 学校の経営指標と財務状況について理解している。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 29.7%

推移) ①26% ②18% ③13% ④16% ⑤15% ⑥20% ⑦14% ⑧10% ⑨14% ⑩19%

***評議員・理事会機能について**

〔設問〕 評議員会、理事会の役割や機能について理解している。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 21.6%

推移) ①7% ②25% ③18% ④11% ⑤12% ⑥17% ⑦18% ⑧20% ⑨7% ⑩22%

◆情報公開

***ホームページの活用状況**

〔設問〕 学校ホームページで可能な範囲の情報公開をしている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 81.1%

推移) ①84% ②75% ③69% ④55% ⑤65% ⑥70% ⑦79% ⑧77% ⑨76% ⑩70%

***授業公開状況**

〔設問〕 保護者などへ授業を公開している。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 51.3%

推移) ①33% ②23% ③29% ④26% ⑤23% ⑥17% ⑦46% ⑧37% ⑨43% ⑩41%

◆危機管理

*役割分担について

〔設問〕 事故、事件、災害時に対処する役割分担が明確にされている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 89.2%

推移) ①72% ②80% ③80% ④68% ⑤62% ⑥70% ⑦68% ⑧77% ⑨83% ⑩78%

*危機管理対応状況

〔設問〕 危機管理マニュアル、警察、消防との連携、訓練など学校の安全対策は十分とられている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 83.8%

推移) ①61% ②61% ③62% ④53% ⑤65% ⑥53% ⑦64% ⑧67% ⑨67% ⑩78%

◆開かれた学校づくり

*地域交流について

〔設問〕 地域や地域住民との交流ができている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 56.7%

推移) ①44% ②52% ③49% ④61% ⑤59% ⑥60% ⑦64% ⑧47% ⑨33% ⑩60%

★学校運営に関する今後の改善方策 (Action)

従前からの課題であるが、建学の精神および教育目標を、教職員・生徒に浸透させる必要がある。教職員・生徒の愛校心は低い状況が続いてきたが、今年度は肯定的見解が 56.8%と過去 10 年で最高の割合をつけた。これは、本校のクラブ活動実績が伸びていること、また、新コース制により新しい教育内容を策定したこと、学校の ICT 教育の進展がよい影響を与えていると思われる。今後更にこの数値を伸ばしていきたい。

保護者評価において「精華高校の社会における評判はよい」の項目の肯定的意見は 45%と低い。本校の社会的評価を上げるために、更なる教育内容の充実が求められる。進学率および進学実績の向上を図る。また、地域に貢献できるコース活動、部活動を推し進めることにより、精華高校の社会的評価を高めると同時に、生徒の自己肯定感を高める教育活動を行う。ただし、保護者評価における精華高校の評価は各項目において全般的に非常に高い。また、学校協議会においても本校に対する評価は高く、地域に期待されていることがわかる。

学習指導要領の対応状況は高評価である。シラバス作成は引き続き行くと共に、内容を充実させる。

教員・教科間連携の肯定的意見は 78.4%で、過去最高である。教員・教科間連携は本校教育のにとって重要な部分である。更にこの数値を高めたい。教員間の信頼感の醸成のために、教科会議の有効な活用を促す。また、効率的で有効な会議の運営を、各リーダーが率先して工夫していく必要がある。会議の有効性の評価が低い。大きな課題である。

財務関係および評議員・理事会機能については、情報の発信を積極的に行い、教職員の啓発に努める。ホームページの更なる充実を図り、開かれた学校作りを推し進める。一斉メールの有効な活用により、学校の危機管理体制を不断に強化し、見直して行く。地域交流については、積極的に行われている。本校は地元との結びつきは強い。

■教育内容

◆情報教育

*情報能力育成

〔設問〕生徒の情報活用能力の育成を図っている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 54.0%

推移) ①40% ②39% ③42% ④32% ⑤35% ⑥47% ⑦57% ⑧37% ⑨55% ⑩51%

*情報モラル指導

〔設問〕情報の発信に伴う責任など情報のモラル面の教育に十分取り組んでいる。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 62.2%

推移) ①44% ②39% ③36% ④58% ⑤24% ⑥47% ⑦57% ⑧37% ⑨43% ⑩49%

◆人権教育

*研究体制

〔設問〕人権尊重に関するさまざまな課題や指導方法を、教員が研究する体制がある。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 45.9%

推移) ①41% ②37% ③30% ④22% ⑤37% ⑥30% ⑦29% ⑧33% ⑨31% ⑩43%

*教育体制

〔設問〕人権尊重の教育において、さまざまな学習方法で、意識を高める教育を行っている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 51.3%

推移) ①44% ②45% ③27% ④32% ⑤35% ⑥34% ⑦50% ⑧30% ⑨31% ⑩54%

◆環境教育

*環境問題意識の向上

〔設問〕ゴミ、リサイクル、省エネなど身近な問題から環境への関心を高める教育をしている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 43.2%

推移) ①37% ②23% ③25% ④18% ⑤21% ⑥27% ⑦21% ⑧20% ⑨26% ⑩41%

*実践的態度の育成

〔設問〕生徒に清掃、校内美化に取り組ませている。また施設・設備を大切にする心を育成している。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 59.4%

推移) ①44% ②32% ③32% ④51% ⑤42% ⑥40% ⑦36% ⑧37% ⑨43% ⑩41%

◆健康・食育

*健康・食に関する指導について

〔設問〕健康教育、食育などにも配慮している。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 18.9%

推移) ①9% ②16% ③9% ④18% ⑤24% ⑥10% ⑦11% ⑧13% ⑨17% ⑩16%

◆生徒会活動

*生徒会支援状況

〔設問〕生徒会活動を通じて、生徒が主体的に活用できるように学校全体で支援している。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 75.7%

推移) ①19% ②22% ③36% ④29% ⑤65% ⑥50% ⑦46% ⑧57% ⑨50% ⑩64%

◆その他

*読書推進

〔設問〕図書館の利用促進など読書指導に取り組んでいる。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 27.0%

推移) ①21% ②34% ③29% ④21% ⑤12% ⑥17% ⑦18% ⑧13% ⑨21% ⑩24%

*部活動

〔設問〕部活動は活発である。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 94.6%

推移) ①44% ②52% ③51% ④53% ⑤53% ⑥70% ⑦82% ⑧87% ⑨71% ⑩83%

*ボランティア

〔設問〕ボランティア活動は活発である。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 59.5%

推移) ①30% ②36% ③27% ④24% ⑤9% ⑥33% ⑦18% ⑧13% ⑨21% ⑩49%

*学校行事

〔設問〕体育祭、文化祭などの学校行事は活発である。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 89.2%

推移) ①54% ②71% ③65% ④63% ⑤65% ⑥77% ⑦43% ⑧67% ⑨81% ⑩89%

＊スポーツ・芸術文化

〔設問〕スポーツ活動、芸術文化活動を計画的に教育活動に取り入れている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 78.4%

推移) ①65% ②75% ③53% ④61% ⑤56% ⑥73% ⑦57% ⑧53% ⑨67% ⑩62%

＊国際理解

〔設問〕他国の歴史・文化の理解、異文化交流など国際理解に対する教育活動を取り入れている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 18.9%

推移) ①14% ②36% ③18% ④24% ⑤9% ⑥27% ⑦11% ⑧10% ⑨14% ⑩24%

★教育内容に関する今後の改善方策 (Action)

最新の設備を備えた E ルーム (ICT 教室) では、オンライン英会話をはじめ、新時代の授業が意欲的に行われている。全館 ITC 化に伴い、時代の要請である教育のデジタル化を推進し、授業の改革を鋭意進めている。また、教員の授業評価、その見直しを昨年度から行っている。生徒・保護者の要望の強いわかりやすい授業、工夫された授業を強く意識して行っていきたい。

令和 4 年度から始まった「新学習指導要領」に合わせて、新コース (5 コース) を立ち上げ、カリキュラムを一新した。生徒一人に一台のタブレットを持たせ、「主体的な学び」を積極的に推進するとともに、情報化社会における様々な情報活用能力を養っている。また、昨年度からフリーアカデミー (不登校生対応) コースを新設した。フリーアカデミーコース 1 年生 20 名は、無事に全員 2 年生に進級している。また、新入生を 25 名受け入れた。

時代状況に鑑み、情報教育を充実させて行く。携帯電話の校内持ち込みに伴い、携帯のマナー教育、また、急速な情報化社会の進展に伴い、情報モラル教育を強化する。

人権教育の研究体制や教育体制については、効果的な方法を模索していく。環境問題意識についても同様である。校舎内壁の張り替えや、生徒トイレの全館リニューアル (洋式化) に伴い、生徒の校内美化に対する意識は高まって来ている。更に実践的態度の育成に努めたい。食育については、大きな課題である。

生徒の自主的な活動としての生徒会活動については、生徒の要求の吸い上げを更に図っていく。学園祭等において、生徒の自主性が育ってきている。生徒会の活動は充実してきている。今後、この方向を更に推進したい。

読書指導、国際理解・国際交流について依然本校は弱い。各担当で具体的な方針を立てるように促す。図書デジタル化に取り組む。部活動の活性化は、本校教育の重要な柱と位置づけている。特別強化クラブとして吹奏楽部を、強化クラブとして硬式野球・サッカー・卓球・剣道・演劇・女子バスケットボール部を指定している。学園として、部活動を支援する体制が整って来ている。また、強化クラブを中心に、近畿大会・全国大会出場など実績が上がってきている。中期的目標として、部活動・文化活動の盛んな精華高校をめざす。

■生徒指導・支援

◆生徒指導

*指導方針の一貫性

〔設問〕生徒指導は学校の方針に従っている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 97.2%

推移) ①81% ②78% ③76% ④68% ⑤68% ⑥77% ⑦61% ⑧87% ⑨83% ⑩89%

*生活指導について

〔設問〕生徒の生活指導に組織的に対応する体制がある。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 94.6%

推移) ①72% ②82% ③71% ④74% ⑤68% ⑥73% ⑦64% ⑧83% ⑨69% ⑩73%

*家庭との連携状況

〔設問〕生徒指導において、家庭との連携ができている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 97.3%

推移) ①84% ②82% ③87% ④89% ⑤82% ⑥80% ⑦79% ⑧93% ⑨81% ⑩84%

◆生徒支援

*学習指導

〔設問〕学習指導において、生徒の実態に合わせた指導方法の工夫・改善を行っている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 86.5%

推移) ①54% ②61% ③73% ④63% ⑤56% ⑥67% ⑦68% ⑧67% ⑨62% ⑩68%

*カウンセリング体制

〔設問〕カウンセリングマインドを取り入れた支援体制がある。スクールカウンセラーの活用ができている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 91.9%

推移) ①58% ②64% ③65% ④71% ⑤79% ⑥87% ⑦64% ⑧77% ⑨67% ⑩78%

*進路指導について

〔設問〕生徒一人ひとりの興味・関心・適正に応じた進路、選択ができるような支援体制がある。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 81.1%

推移) ①75% ②77% ③60% ④58% ⑤56% ⑥70% ⑦71% ⑧80% ⑨57% ⑩68%

★生徒指導・支援に関する今後の改善方策（Action）

本校の生徒指導は、中学校・地域・保護者から理解され、評価されている。さらに期待に応えられるように努力する。ただし、時代の要請に合わせて、見直すべき点は柔軟に見直して行く。進路指導についても、生徒の多様な進路希望に応えられる、丁寧なきめ細かい指導を堅持したい。進路の情報発信においては保護者の要望が強い。充実した進路情報の発信を行う。学習指導については、各教員が生徒の実態に合わせた工夫・改善を行っている。更に工夫された、わかりやすい指導を行いたい。

■教員研修・資質向上

◆教員研修

*教員の資質向上について

〔設問〕教員間で授業内容を評価、意見交換などを行う機会がある。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 37.8%

推移) ①61% ②42% ③50% ④42% ⑤45% ⑥41% ⑦32% ⑧20% ⑨24% ⑩32%

*校内研修

〔設問〕効果的な校内研修計画を立案し、教職員に実施している。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 36.8%

推移) ①51% ②64% ③38% ④42% ⑤47% ⑥30% ⑦29% ⑧33% ⑨36% ⑩23%

*初任者サポート状況

〔設問〕初任者等、経験の少ない教員を学校全体でサポートする体制がある。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 38.0%

推移) ①42% ②43% ③45% ④37% ⑤24% ⑥23% ⑦39% ⑧30% ⑨22% ⑩46%

*校外研修

〔設問〕教員が計画的に校外研修を受ける体制が整っている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 35.1%

推移) ①35% ②32% ③42% ④39% ⑤44% ⑥23% ⑦32% ⑧37% ⑨41% ⑩32%

*研修成果の共有状況

〔設問〕研修、研究に参加した成果を、他の教員に伝えて情報を共有する体制がある。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 16.2%

推移) ①14% ②18% ③20% ④21% ⑤18% ⑥10% ⑦22% ⑧13% ⑨10% ⑩19%

★教員研修・資質向上に関する今後の改善方策（Action）

教員研修・資質向上は、年間を通じてもっと充実させなければならない。抜本的に見直す必要がある。また、専門的な知識はもちろん、一般教養についても、教員各自の自己研鑽を強く求める。

(2) 保護者自己評価 (Check)

1 調査目的

- ① 学校に対しての意見・要望、満足度を把握する。
- ② 保護者・教員間の連携を強化し、生徒の学校生活に活かす。

2 実施方法

令和7年2月13日に担任より各家庭に配布。2月20日を期日として回収終了。

調査は無記名。回収は568件。

各項目を以下の4段階にて評価。A Bを肯定的評価 C Dを否定的評価とする。

- | | |
|--------------|---------------|
| A よくあてはまる | B ややあてはまる |
| C あまりあてはまらない | D まったくあてはまらない |

3 結果報告

① アンケート結果

冊子P18に掲載させていただきます。

② 〔ご意見・ご要望〕

【 学校全般 】

- ◆体育館にエアコンがないので 夏の体育や大勢が集まる朝礼などで熱中症などで体調をくずさないか心配。 ※(多数ご意見あり)
- ◆我が家は精華高校お世話になり、先生には恵まれたと感じています。感謝でいっぱいです
- ◆修学旅行の行き先が残念です
- ◆普通ではない体験ができていると思うのでこれからも子供達をわくわくさせて欲しいです
- ◆いつもお世話になっております。人権教育や授業内容に関する項目のところは、こどもの感じ方なども参考にしての評価にしております。保護者の気持ちとしましては、いつも本当に丁寧に色々と親身になって下さり、対応して下さっていると感じていて、感謝しております。精華高校に入って良かったかのところは二重丸の気持ちです。いつもありがとうございます。
- ◆封書の表書きはいらない。個人情報です。何の書類かは保護者が開封したらわかります。クラスと生徒名、保護者宛てでよろしいのでは。
- ◆FAの時間帯のスクールバス運行があれば助かります。
- ◆学校からの連絡事項などのプリントは、用紙で生徒に配布するのではなく、アプリで保護者に配信するようにして欲しいです。(このアンケートも、さくら連絡網で『手紙を配りました』というお知らせはあったけど、このアンケート自体をスマホに送ってくれるようにして欲しいです。)
- ◆2年生の介護職員初任者研修の時も、バスを出して欲しいです。
- ◆外部からの評判は本当に良くない。いい話を聞きません。色々な問題についても学校全体で隠蔽し、全てを否定することに対して恥ずかしくはないのですか？生徒本人もこんな学校選ぶんじゃないかと言います。
- ◆息子にどーしても普通の高校生をさせてあげたかったので、精華高校の環境に本当に感謝しています。これからも同じ思いを持つ親に寄り添っていただけたら幸いです。

【 生徒指導 】

- ◆防寒着の条件が厳しく着用できるものがなく 自転車で朝の寒い時間帯や極寒の日には手袋とネックウォーマーだけでは辛いようです。
- ◆野球部の人の態度は余りよくありません、学校を離れてたら携帯電話や、何列にもなって自転車で走っていたり、一年生へのいたずらがあるようです
- ◆校則が厳しめなのは、いいことであると思うが、反省文を書かせたりするのは少し厳しすぎる感じがする。子供を見ているとビクビクして少しの失敗も出来ないと感じている。

- ◆部活で、休みなく生徒が疲れ切ってるのに行動が遅いと怒られ、やる気を無くす事が有ります。もう少し、身体を休める事を考えて欲しい！部活で報酬が貰える物に参加してるのに、全額没収される予定で。それに、対して詳細が出れば親も子も納得出来るとは思いますが、どこか分からない。
- ◆クラブ活動の登下校の服装ついてですが、授業の無い日の登校時はクラブ内で購入した学校名が入った物で登下校の許可が、欲しいと思います。理由は制服が洗濯出来ない事です。今は部活終わり帰宅してすぐに洗濯してます。夏は乾きますが、冬は乾きません。(洗濯は土日のどちらかの週一回しています。)学校名入った物はあるので、許可していただきたいです。夏休み、冬休みもずっと制服登校でした。夏は暑さが厳しくなっており、冬はやはり制服だと寒さ対策しにくいです。洗濯の面と、暑さ寒さに対応出来るように制服では無く対応出来る服装(部活で購入させていただいた物)で登下校させてあげればと思い意見させていただきました。ご検討頂ければ幸いです。よろしくお願い致します。
- ◆校内の貴重品管理について、鍵付きロッカーの設置を検討していただきたい。
- ◆いつもお世話になっております。学校が休みの時の部活動は部活のジャージで登下校出来るとうれしいです。
- ◆クラブ活動ですが、適度な休暇が必要かと思います。
- ◆運動会が暑くなくてエディオンホールで良かったです。

【 進路指導 】

～特にご意見は頂いておりません～

【 保護者評価に対する校長所見 】

たくさんのご意見、本当にありがとうございます。まず最初に、精華高校に対しまして、多数の好意的なご意見を頂いておりますこと、深く感謝申し上げます。ただし、「精華高校の社会における評判は良い」の肯定的評価が45%と、昨年より10%落ちていることに関しましては、重く受け止めております。

コロナ禍の3年間を通過して、教育のデジタル化は大きく前進しました。本校でも全館 ICT 化の工事を完了しています。全生徒が一人一台のタブレットを持ち、新しい時代の主体的な教育を行っております。授業中のタブレット使用に関しましては、今後充実させて参ります。また、全ての生徒にスケジュール帳を持たせ、スケジュール管理の重要性を認識させると共に、高校時代の教育活動の記録を残して行くように指導しています。

保護者評価における設問「生徒は精華高等学校での高校生活を楽しんでいる」「生徒は礼儀正しく、服装・頭髪等のマナーが守られている」「精華高校に入学させてよかった」の項目につきまして、多くの保護者の方々に高い評価して頂いておりますことは、我々教職員にとりまして大変励みになります。ありがとうございます。また、高校生活全般に関する項目では、全体的に高い評価を頂きました。精華高校の教育の充実を、更に進めて参ります。

精華高校の社会における評価の低さにつきましては、特別強化クラブや強化クラブの指定により部活動が大変活発になり、地域社会における評価は確実に上がって来ております。今後、新コースの教育内容の充実や、進学実績の向上により社会評価の上昇をめざします。

生徒指導について

本校の生徒指導の方針に、多数の保護者の方々のご理解・共感を頂いていますこと、感謝申し上げます。昨年度の保護者評価において、頭髪指導・校則等、厳しすぎるというご意見が一部ありました。頭髪に関しましては、生徒・保護者の強い要望を受けて、ルールを緩和しています。今後も、社会情勢に合わせた見直しは必要と考えております。

また、「いじめ」につきましては、教職員一同「いじめは絶対に許さない」という方針の下に、しっかりと対応して参ります。何か気になることがございましたら、遠慮なく学校の方にご連絡下さい。窓口を設けております。携帯電話につきましては、時代状況も考え「持ち込み可」にしております。

情報リテラシーの向上と共に、マナー教育にしっかり取り組んで参ります。

学習指導について

教育活動の基本である授業は、「授業評価」を実施致しまして、各教員が不断に改善を図っています。授業の年間計画・内容につきましては、シラバス（年間指導計画）をホームページ上で公開致しております。ぜひ、ご覧になって下さい。「わかりやすく充実した授業」「生徒が興味・関心を持って取り組める授業」の項目につきましては、一定評価頂いております。

今後更に、各教員が生徒の実態に合わせた授業の工夫・改善を行って参ります。「テストの得点だけではなく、いろいろな面から学習の評価を行っている」の項目につきましては、高評価を頂いております。

進路指導について

進路に関する情報提供につきましては、進路指導部を中心にしっかりとした情報発信を心がけています。保護者の皆様のご要望が強いことは、十分に認識致しております。

本校は、生徒の多様な進路に応えられるように、丁寧なきめの細かい進路指導体制を取っております。

学校環境・設備についてとその他項目

校舎の耐震化につきましては、以前に建設会社2社に耐震調査を依頼し、本校は新耐震基準をクリアしていることを確認致しております。その際、校舎前面のタイルについて、地震の際はがれ落ちてくる危険を指摘されましたので、外壁工事の際に対策を講じています。校舎の外壁補修工事は全て終了致しました。施設設備の充実につきましては、校舎内壁の全面改修、また、生徒トイレの全館改修（洋式化）も済んでおります。

自転車置き場から校舎に至る通路につきましては、改善策が必要だと考えております。第一研修館に冷房を設置致しました。また、体育館はこの夏熱中症対策のため、大規模な空調工事を予定しています。

生徒の校内美化に対する意識は以前より高まりましたが、更に実践的態度の育成に努めて参ります。食堂の改革については、鋭意検討中です。また、学校からの情報発信につきましては、ホームページの充実を図ると共に、一斉メールにより緊急時に関わらず迅速に情報を発信して参ります。一斉メールにつきましては、きめ細かい情報発信を行います。また、SNS等によるコースや部活動の情報発信も、充実して参りました。

Ⅲ 学校協議会

令和 7 年度 学校協議会 議事録

令和 7 年 9 月 6 日（土）10：30～12：30

参加者 東陶器校区自治連合協議会会長
西陶器校区自治連合協議会会長
福田校区自治連合協議会会長
精華高等学校同窓会会長
精華高等学校保護者会会長

精華高等学校	学校長	副校長	教頭	参与
	主幹	教務部長	生徒指導部長	進路指導部長

配付資料 令和 6 年度 学校評価結果報告書
令和 6 年度 学校経営計画および学校評価
保護者対象学校自己評価アンケート結果
令和 8 年度 学校案内

次 第 参加者紹介 校長挨拶 校内（授業）見学 校長現状報告 意見交換

1. 校長挨拶

まだまだ猛暑が続きます中、ご参加いただきありがとうございます。

地域住民の皆様・本校保護者の皆様・同窓会会員の皆様には、日々本校生徒及び本校へのご指導、ご協力、ご理解、誠にありがとうございます。

また、先日は体育祭観覧のため、遠路足をお運びいただき感謝いたします。本日は限られた時間の中ではございますが、本校の教育現場をご覧いただき、忌憚のないご意見をいただきたいと思っております。お手元の資料は、後ほどお目通しください。

2. 校内見学

各コース設定教科「探究」の授業見学及び施設見学（外部講師による実習多数）【外部探究多数】

- ・手話 ・アスリートへの調理実習 ・外部コンクールのプレゼンテーション実習 ・社会保障
- ・環境問題考察 ・オンラインによる遠隔授業 ・ジャグリング ・体育館での和太鼓 等

3. 校長現状報告

では、本校の近況について簡単にお伝えいたします。まず、懸案でありました体育館への空調設備設置がようやく完了いたしました。ここ数年の酷暑に、「式」はオンラインでおこなっていましたが、安心して全校生徒を前に、顔を見ながら語り掛けることができるようになりました。また、冬の行事への心配もなくなりました。

さて、本校は私学ですので入学生の数字には敏感です。ここ数年は先願受験者の数字が入学者数になりつつあります。現在提供している教育内容への評価が、入学者数の増加につながると信じておりますが、来年度「学園創立 100 周年」を迎えますことと、「私学授業料完全無償化」の風を受けて、さらなる前進ができるよう努力する所存です。

先程ご覧いただいた通り、授業はユニークな特色のあるものばかりですが、生徒は整然と受講しており、ここ数年生徒の質は安定してよい状態です。私の挙げる「挨拶」「美化」「礼儀」の意識向上も浸透し始め、外部から評価を頂けるようにもなっておりました。

そして、「学びの多様化学校」指定コースであるフリーアカデミーコースの生徒達が、体育祭に大

勢参加し、各シーンで輝いていてくれたことが印象的でした。

また、各強化クラブの活躍も定着してきました。吹奏楽関西大会では、全国大会への切符は逃しましたが、府代表の常連校に成長してくれました。硬式野球部も、今夏は敗退し、秋季大会のシードには手が届きませんでした。シード常連校に育ってくれました。その他のクラブも近畿大会出場などそれぞれ目標を達成し、その勢いで学校を牽引してくれています。

そして、SG コースをはじめ、難関大学突破の好結果が出てくる空気を感じられるようになってきました。学校といたしましても、放課後の外部予備校との連携や、外部講師による「自習室」開講などサポート体制を強化していきたい。

さらに、土曜日の「探究」授業もグレードアップさせていきたいと思っています。本日も NS コースが「吉本新喜劇」の劇場鑑賞をおこなっています。テレビなどではよく目にしますが、実際大阪に居住しながら劇場に足を運ぶことはほとんどありません。「大阪の文化」として、その目で見ることの意味を感じます。

最後に今後の展開ですが、広くアジアからの留学生受け入れも視野に入れています。グローバルな学校運営をめざす、チャレンジする学校でありたいと思います。

そして、いよいよ入試イベントシーズンも始まりますので、本校の取り組みを一人でも多くの中学生に伝えていきたいと思っています。今後とも、本校への応援、よろしくお願いいたします。

4. 意見交換

◆西陶器校区自治連合協議会会長

先日の体育祭は、活発で陽気で楽しかった。若い力に感動しました。

そして、体育館の空調は嬉しいです。昨年の卒業式は、少々寒かった印象で、これで心地よく出席できます。

また、前回もお伝えしましたが、「泉ヶ丘東中学校交差点」から精華高校前、東中学校へのスクールゾーンの拡幅工事着工への署名等のご協力をお願いします。子ども達の安全確保が何より優先事項ですので、よろしくお願いします。

最後に、地元には精華高校のような健全な学校があることが誇らしいです。今後も頑張ってください。

◆東陶器校区自治連合協議会会長

年々体育祭や行事の取り組みが良くなり、生徒の努力が伝わってきます。

先程の授業見学で、このような工夫のある授業展開をしている私学に生徒が集まるのは理解できます。精華高校は、本当によく努力していると思います。

◆福田校区自治連合協議会会長

体育祭、感動しました。本当にありがたいという気持ちです。

そして、特色ある授業、手話やその他大切な授業が多く感心しました。今後も頑張ってもらいたい。校長先生のお言葉にもありましたが、私学は競争の中にあります。精華高校にはぜひ勝ち残ってもらいたいと願っています。

◆精華高等学校同窓会会長

体育祭の閉会式、大いに盛り上がった後の静粛な感じが感動的でした。動と静の切り替えが素晴らしいと思いました。

そして、フリーアカデミーコースはとても理にかなった授業づくりをしていると思いました。不登校生徒を大切に見守っていると痛感しました。

また、校内がとにかく明るい。教室の様子も整然としていた。生徒が留守の教室も整然とし、落ち着いた空気が伝わってきました。美化の意識も感じ取れました。

年々登下校の通学マナーもよくなっています。私は地元で暮らしていますので、些細な変化にも気付きますので、喜んでいきます。

◆精華高等学校保護者会会長

体育館の空調設備は本当によかったと思います。

そして、本日このように地元の方々に精華高校が認知されていることを実感でき、心から嬉しく思っています。保護者会としても、今後とも全力でバックアップしていきたいと思っています。先生方の日々のご尽力、感謝いたしております。

◆生徒指導部長

今年から生徒指導を預かることになりました。これまでもそうですが、登下校指導にも変化がはじめています。遅刻ギリギリに突っ走ってくる生徒が減少し、放課後部活動以外の生徒同士の語らいや先生方と触れ合いの時間も増えたような気がします。

また、欠席は多少増加していますが、問題行動に対する指導件数は横ばいを保っています。ただ、年度当初に集中する傾向は残念でなりません。そして、行事準備の少々落ち着きのない場面でトラブルが発生するなどが今後の課題と感じております。

◆進路部長

本校の進路状況についてお知らせすると、大・短・専門学校への進学が 80%、就職が 10%、残念ながら進路未定で卒業する割合が 10%となっております。

また、SG コースの英語に特化した戦略などが、総合型受験で結果を出し始めています。他のコースも、日々の授業への取り組みそのものが進路に直結する形になってきております。

ただ、進学のための受験そのものには大きな変化が出ています。これまで、越年で 1 月以降の受験も多かったのですが、ほぼ年内型に変わりつつあります。しかも、そのほとんど 90% 近くが、総合型受験になっていくかと思われます。今後も推移を注視していきたいと思っています。

◆教務部長

私の方は、生徒の成績管理・時間割管理を主にいたしております。他校との関りも多いですが、本校の「探究」授業は、改めて良い取り組みをしていると思います。時間割編成はしんどいですが、他校にはない斬新な内容だと自負しています。

また、教科担当としてはフリーアカデミーコースへも入っていますが、自宅でオンライン授業に参加している生徒に、教室でその時配布しているプリントをリアルタイムで「データ送信」し、課題に取り組んだ後、「データ返信」できるなど、本当に子供たちに寄り添った授業ができていることなどは素晴らしいと思っています。

◆主幹

教育改革担当ですが、文部科学省との折衝や、国・府からの補助金関係の仕事をしております。

また、スーパーグローバルコースのコース長も務めさせていただいています。日々新しい教育を提供できるよう努めておりますので、ご指導のほどよろしくお願いします。

◆副校長

本日はありがとうございます。協議委員の方々のお褒めの言葉には感謝いたします。しかし、今後の更なる成長のためには、もっと厳しいご指導を頂戴したいと思います。

大阪には私学の高等学校が 96 校あります。先日は府立高校の適正校数が示され、数年後には 14 校が統廃合されます。私学 96 校という数も多すぎる数字と言えましょう。府下全高等学校で算出すると、各校平均学年 200 名前後の生徒数になります。本校が学年 200 名という数字になれば、当然淘汰されてしまいます。本校は生き残れる学校でありたい。そのためにも、今後とも厳しいご意見を頂戴し、地域に、中学生に、保護者に必要とされる学校でありたいと思います。

また、今日は多個性の時代と言われていると思いますが、独走しないよう慎重に進めていきたいと思っています。

以上 記録：参与

IV 総合評価

建学の精神（教育目標）を、学校関係者に浸透させる努力を重ねて行く。教職員・生徒の愛校心は低い状況が続いてきたが、今年度は肯定的見解が 56.8%と過去 10 年で最高の割合をつけた。これは、本校のクラブ活動実績が伸びていること、また、新コース制により新しい教育内容を策定したこと、学校の ICT 教育の進展がよい影響を与えていると思われる。今後更にこの数値を伸ばしていきたい。保護者評価において「精華高校の社会における評判はよい」の項目の肯定的意見は 45%と、昨年の 55%から低下している。本校の社会的評価を上げるために、更なる教育内容の充実が求められる。進学率および進学実績の向上を図る。また、地域に貢献できるコース活動、部活動を推し進めることにより、精華高校の社会的評価を高めると同時に、生徒の自己肯定感を高める教育活動を行う。ただし、保護者評価における精華高校の評価は各項目において全般的に非常に高い。

本校の生徒指導は、中学校・地域・保護者から評価されている。今後も生徒指導に強い精華高校という評価は堅持したい。ただし、一部頭髪指導等、厳しすぎるという意見もあったが改善した。髪型や校則等、もう少し緩めてもいいのではないかと意見も増えてきている。生徒・保護者の意見も参考にしながら、時代に合わせた柔軟な対応を取りたい。いじめについては、絶対に許さないという強い姿勢で臨む。いじめの兆候を早期に発見し、すばやく対応していく。進路指導については、生徒の多様な進路に応えられるきめ細かい指導を継続したい。進路の情報発信については、保護者からの要望が強いことに十分留意する。学習指導については、各教員が生徒の実態に合わせた工夫・改善を行っているが、保護者・生徒の要望が強い「わかりやすい授業」については、更に研鑽を積みわかりやすい学習指導を行いたい。

情報教育、人権教育、環境教育については、具体的な方策を立てながら強化する必要がある。国際理解教育・国際交流についても、さまざまな工夫をして充実させる必要がある。教員研修、教員の資質向上については、抜本的な改革が必要である。

本校は保護者、中学校、地域に信頼される、地域に根ざした学校をめざす。また、時代の要請に応えるべく、学校改革、教育改革を思い切って進め、時代が求める新しい教育に取り組んでいく。

V 資料①

令和6年度 保護者対象 学校自己評価アンケート結果

A：そう思う B：ややそう思う
C：あまりそう思わない D：そう思わない

I 高校生活全般に関する項目

設問	評価				
	A	B	C	D	不明
1 生徒は精華高等学校での高校生活を楽しんでいる。	43%	40%	13%	3%	1%
2 生徒は礼儀正しく、服装・頭髪等のマナーが守られている。	65%	32%	3%	0%	0%
3 生徒は学園祭文化の部・体育の部、校外研修・コース別宿泊研修などの学校行事に積極的に参加している。	71%	25%	4%	0%	0%
4 学校はコース制などの独自の教育活動に取り組んでいる。	68%	29%	2%	1%	0%
5 生徒に命を大切にすることや社会のルールを守る態度を育てようとしている。	37%	48%	13%	1%	1%
6 学校は生徒に人権を尊重する意識を育てようとしている。	34%	44%	18%	3%	1%
7 学校が保護者に出す文書・事務連絡等は適切である。	52%	40%	5%	3%	0%
8 部活動は活発である。	47%	39%	10%	4%	0%
9 保護者会活動は活発である。	24%	51%	21%	3%	1%
10 生徒に関する個人情報を守られている。	50%	45%	5%	0%	0%

II 生徒指導に関する項目

1 1 学校の生徒指導の方針に理解・共感できる。	33%	47%	16%	4%	0%
1 2 学校はいじめ等の問題行動が起こりにくい環境を整えている。	27%	48%	18%	7%	0%
1 3 生徒の携帯電話の所持・使用に関して、学校の指導方針に理解・共感できる。	47%	42%	9%	2%	0%
1 4 学校は生徒指導面での連絡や、保護者との意思の疎通をきめ細かく行っている。	34%	46%	17%	3%	0%

III 学習指導に関する項目

1 5 学校ホームページに掲載されている年間指導計画（シラバス）を見ている。	22%	34%	30%	13%	1%
1 6 内容がわかりやすい充実した授業が多い。	20%	58%	19%	2%	1%
1 7 生徒が興味・関心を持って取り組めるように、工夫している教員が多い。	23%	57%	17%	3%	0%
1 8 テストの得点だけでなく、いろいろな面から学習の評価を行っている。	44%	46%	10%	0%	0%
1 9 授業・講座等で、進路志望達成に必要な学力を身につけることが出来ている。	22%	55%	21%	2%	0%
2 0 各コースにおける専門教科の授業内容は充実している。	40%	48%	12%	0%	0%
2 1 学校は検定・資格取得に向けての指導に熱心である。	34%	49%	15%	1%	1%

IV 進路指導に関する項目

2 2 学校は進路に関する連絡や情報提供を十分にしている。	30%	50%	19%	1%	0%
2 3 学校は進路に関する保護者や生徒の相談に乗ってくれる。	31%	51%	17%	1%	0%
2 4 生徒対象の進路指導部による進路説明会は、生徒の進路決定に役立っている。	28%	55%	16%	1%	0%
2 5 クラス懇談会や進路説明会は、大変参考になる。	24%	60%	16%	0%	0%

V 施設・設備及び環境・衛生に関する項目

2 6 学校の施設・備品は、学習環境の面においてほぼ満足出来るものである。	22%	51%	19%	8%	0%
2 7 教室・特別教室・運動場などの施設は、活動しやすいように整備されている。	24%	49%	20%	6%	1%
2 8 学校は清掃が行き届いていて、清潔である。	36%	45%	15%	4%	0%

VI その他の項目

2 9 電話の対応や来校時における教員・事務員の接し方は丁寧かつ適切である。	52%	41%	4%	3%	0%
3 0 学校のホームページは充実しており、よく閲覧している。	23%	49%	20%	8%	0%
3 1 食堂は生徒にとって利用しやすく、充実している。	13%	36%	36%	13%	2%
3 2 緊急時における学校と保護者の連携体制が構築されている。	34%	51%	12%	3%	0%
3 3 学校が発行している新聞「華」や配布される各種プリント類は必ず読んでいる。	40%	34%	19%	7%	0%
3 4 精華高校の社会における評判は良い。	13%	42%	34%	10%	1%
3 5 子どもを精華高校に入学させて良かったと思える。	48%	40%	8%	4%	0%

V－資料②

令和6年度 精華高等学校 学校経営計画及び学校評価			
1 建学の精神および教育目標（自立・協調・創造）に基づき、生徒の可能性を最大限伸ばす教育を行う。 2 生徒指導を充実させ、基本的生活習慣の確立とマナーの向上をめざす。挨拶がしっかり出来て、美化意識の高い生徒を育成する。 3 きめ細かい進路指導の下、生徒の多様な希望進路を実現する。 4 各コースの教育内容の充実・発展をめざす。また、各コースの特徴を強く打ち出すと共に専門性を高める。特に探究授業に特徴を持たせ、生徒の主体性を伸ばす教育を行う。 5 SG コースを中心に、大学進学実績を向上させる。 6 部活動を活性化させ、その活動を通じて地域社会に貢献する。芸術・文化・スポーツ活動の盛んな高校をめざす。			
中期目標（到達目標として）			
PLAN（重点目標）	DO（具体的取り組み）	CHECK（自己評価）	ACTION（改善のための方針）
1 日々の授業を充実させると共に、生徒に将来の目標を持たせ、意欲的に学習に取り組む環境を整える。	教員の授業に対する意識を高める。工夫されたわかりやすい授業を実践する。授業公開を増やす。一昨年度、注意点 30 点を 35 点に引き上げ、生徒の授業に対する意識を高める改革を行った。引き続き、成績に対する生徒の危機感を高め、しっかり学習するように指導して行く。教員の授業評価を、昨年度に続き秋に実施する。各教員の授業評価をもとに、授業技術向上のための研修を企画する。 <u>学校自己評価「授業公開状況」「学習指導において、生徒の実態に合わせた指導方法の工夫・改善を行っている」および各コースの教育内容に関する学校自己評価、また保護者評価「内容がわかりやすい充実した授業が多い」「生徒が興味・関心を持って取り組むことが出来るような授業が多い」「各コースにおける専門教科の授業内容は充実している」等を確認し、評価する。</u>	教員の良い授業に対する意識は、強くなった。工夫されたわかりやすい授業を、常に意識してほしい。 教員は、生徒の実態に合わせた指導方法の工夫・改善を行っている。 授業公開は機会あるごとに行った。 教員の授業評価を、昨年に引き続き秋に行った。その後、授業評価についての分析報告会を行い、教員の意識を高めた。生徒の授業に対する姿も良くなっている。	来年度も引き続き、教員の授業評価を行う。その結果に基づき、分析報告会を実施する。 公開授業を、出来る限り増やしていく。 生徒の授業に対する意識を更に高めるよう、学校を上げて指導していく。

PLAN（重点目標）	DO（具体的取組み）	CHECK（自己評価）	ACTION（改善のための方針）
2 本校特別強化クラブである吹奏楽部を中心に、強化クラブである硬式野球部・サッカー部・卓球部・剣道部・演劇部・女子バスケットボール部の強化をめざす。 また、他の運動部・文化部においても、活動の活性化を図る。 それらの活動を通じて地域社会に貢献して行く。	部活動推薦生徒（専願）の本校入学者数を増やすため、優遇制度の拡充を行って来た。 令和8年度、大阪府の授業料完全無償化に伴い、来年度から奨学金制度に移行する。 本校の優遇制度は充実している。 充実してきた部活動の様子を広く発信し、広報活動に資する。 SEIKA クラブトライアル（旧クラブ活動体験会）・オープンスクール等の募集活動の参加人数を増やし、部活動推薦生徒（専願）の入学生増加を図る。 吹奏楽部・女子ダンス部・ボランティア部・演劇部等を中心に、地域社会に貢献して行く。 <u>学校自己評価における、「部活動」の項目並びに「保護者評価」「部活動は活発である」の項目において、評価の肯定率70%以上をめざす。</u>	部活動体験会・オープンスクール等の生徒募集行事の参加人数を増やし、部活動推薦生徒（専願）の入学生増加を図ることが出来た。 吹奏楽部・女子ダンス部・ボランティア部等を中心に、地域社会に貢献することが出来た。部活動の様子を広く発信するために、SNSによる発信（広報活動）が盛んになって来た。 保護者としても、Instagramを始め精華のSNSを見るのが楽しみだという意見も出てきた。	クラブトライアル（部活動体験会）・オープンスクール等の生徒募集行事の参加人数を増やし、部活動推薦生徒（専願）の入学生増加を図る。 部活動推薦生徒（専願）の確保のために優遇制度の充実を図ってきたが、令和8年度からの大阪府授業料完全無償化を受けて、今年度からは奨学金制度に切り替えた。 SA コースを中心に部活動を頑張る生徒を増やし、学校を活性化する。 SNSによる広報活動を更に充実させ、学校の様子を積極的に発信して行く。

PLAN（重点目標）	DO（具体的取組み）	CHECK（自己評価）	ACTION（改善のための方針）
3 NS コース 高校生としての自覚を持たせ、生徒の基本的生活習慣の確立をめざす。落ち着いた雰囲気の中で授業を受ける体制を作り、日々の授業を大切にする生徒を育てる。各自の進路に結びつく基礎力・応用力を身につけさせる。	入学直後に、オリエンテーションを実施する。欠席・遅刻を出来る限り減らすために、各家庭・保護者との連携を密に行う。授業中・昼食時の巡回を実施する。各授業の準備、着席指導の徹底を図る。早朝学習を実施する。教員間の連携を密にする。 コース教員だけではなく、各教科担当者との連携により、強力な指導体制を構築する。コース行事ごとに、生徒の様子を SNS で発信し、コースの魅力を積極的に伝える。 <u>学校自己評価、また保護者評価等を確認しながら、NS コース長とのヒアリングをもとに評価する。</u>	遅刻については減少しているが、欠席や遅刻など一部の同じ生徒に集中している傾向がある。各家庭・保護者との連携を密に行うことについては、努力しているが、仕事の都合上、連絡がつきにくい家庭が増加している。 授業中・昼食時の巡回はしっかり行うことが出来た。その結果、授業中の態度も落ち着いてきた。教員間の連携については、学年がまたがった場合難しい場面があった。コース朝礼では、伝達事項がスムーズに行えた。また、各教員からの講話もよかった。	落ち着いた雰囲気の中で授業を受ける体制を作り、日々の授業を大切にする生徒の意識を育てることは、このコースにおいては特に重視する。 また、いじめや生徒間トラブルが起きないように、協調性や社会性を養うことにもしっかり取り組んで行きたい。 その結果、各自の進路に結びつく基礎力・応用力を身につけさせ、各自の希望に寄り添った進路指導を確実に行いたい。 各家庭・保護者との連携を密に行うことに、更に努力したい。 コース朝礼を充実させる。

PLAN（重点目標）	DO（具体的取組み）	CHECK（自己評価）	ACTION（改善のための方針）
4 SA コース 勉強・部活動ともに頑張る生徒を育てる。各自自己をしっかり分析し、それぞれの将来像を描かせる。	入学直後に、オリエンテーションを実施する。 高校生としての基本的なマナー（時間厳守や挨拶など）を身に付ける指導を行う。 欠席・遅刻を出来る限り減らすために、各家庭・保護者との連携を密に行う。 授業中・昼食時の巡回を実施する。 各授業の準備、着席指導の徹底を図る。 早朝学習を実施する。 教員間の連携を密にする。 コース独自の科目や行事を通して、進路を見据えた指導を行う。 <u>学校自己評価、また保護者評価等を確認しながら、NS コース長とのヒアリングをもとに評価する。</u>	遅刻については、ほぼ決まった生徒の指導が続き、なかなか改善することが出来なかった。また、通院での遅刻が多かった。 生徒指導については、2年生でもまだ若い生徒が多く、細かいことでの注意が多かった。ただ、1年次に比べると少しずつ落ち着いては来ている。 早朝学習は、習慣づけたかったがほぼ実施できなかった。 総合的な探究の時間について、公式戦が多いクラブでは公欠が多く、このままでよいのかと思う。 「河リハ実習」では、専門的な知識を得ることが出来て有意義だった。 進路については、部活動や生徒会活動を武器に、関西大学や大阪府行政職に合格できたことは、よい実績になった。 3年生はほぼ全員が希望進路に進めた。	基本的な生活習慣を、しっかり確立させる指導に力を入れたい。 総合的な探究の時間については、見直しを検討していく。 勉強・部活動のともに頑張る生徒を育てるために、生徒指導・進路指導を工夫する必要がある。 早朝学習は、曜日を決めて実施して行きたい。

PLAN（重点目標）	DO（具体的取組み）	CHECK（自己評価）	ACTION（改善のための方針）
5 i-Tech コース 情報社会で主体的に活躍できる人材の育成をめざす。 情報に関する検定を受験させ、コースとして合格率 80%以上をめざす。 また、情報の専門性を高め、情報化社会に対応出来るスキルを持った生徒の育成を図る。 希望進路を実現する。	保護者との連携を密に行い、生徒一人一人が自己管理を適切に行えるように指導し、欠席・遅刻を出来る限り減らすように努める。 コンピュータに関する基礎的な技術は、生徒全員が習得出来るようにし、検定取得率 100%をめざす。 希望進路の実現に向けて、積極的に教員がアプローチする。 生徒の情報をコースで共有し、組織的に対応できる体制を整える。 教室内の美化を心がけ気持ちよく過ごせる環境を作る。 <u>学校自己評価、また保護者評価等を確認しながら、NS コース長とのヒアリングをもとに評価する。</u>	情報社会で主体的に活躍できる人材を育てる。 そのために情報の専門性を高め、情報化社会に対応出来るスキルを持った生徒の育成を図る。 また、基本的生活習慣の確立、および挨拶・礼儀・身だしなみ等のマナーの向上をめざす。 これらの目標、コース理念は十分に達成することが出来た。 検定取得については、見直しも必要である。 コース朝礼は、服装指導や各先生方の講話など充実していた。 各クラスの生徒について、教師間の連携はしっかり取れ、日常の情報は共有することが出来た。	情報社会で主体的に活躍できる人材を育てる。 そのために情報の専門性を高め、情報化社会に対応出来るスキルを持った生徒の育成を図る。 また、基本的生活習慣の確立、および挨拶・礼儀・身だしなみ等のマナーの向上をめざす。 以上のコース理念を引き続き掲げ、社会に有為な人材を育てる。 コンピュータに関する基礎的な技術は、生徒全員が習得出来るようにし、検定取得率 100%をめざす。 次年度に向けて、人の話を聞く態度をしっかりと指導していきたい。

PLAN (重点目標)	DO (具体的取組み)	CHECK (自己評価)	ACTION (改善のための方針)
6 環境福祉コース 高校生としての自覚を持たせ、主体的に物事に取り組む姿勢を育む。納得より理解が出来る、また、相手の立場を考慮することの出来る生徒を育てる。丁寧な言葉遣いが出来る、美化意識の高い生徒の育成を図る。	生徒の要望を出来る限り取り入れ、精華高校でしか出来ない独自の経験を積み上げる。希望進路の実現に向けて、生徒の情報をコース内で共有し、組織的に対応できる体制を整える。 生徒と個別に話す時間を出来るだけ増やす。生徒と教員で掃除をする。 <u>学校自己評価、また保護者評価等を確認しながら、EW コース長とのヒアリングをもとに評価する。</u>	コースの生徒について、全体的に学力はそこまで高くないが、欠席も少なく基本的に真面目な生徒が多いのでしっかり教育出来た。ただ、支援教室在籍生徒が増加しており、教科指導において難しい面がある。コースの特色を活かした教科実習やさまざまな活動を通じて、将来の進路決定につなげることが出来た。介護職員初任者研修を行い、資格を取らせることが出来た。コース全体で早朝学習を行った。国語・数学・英語・雑学などに毎日取り組んだ。結果、遅刻が少ないコースとなった。楽しみながら勉強することを身に付けさせられた。コース内の協力体制が成立しており、日々安心して生徒と向き合えた。環境福祉コースの活動の様子を、動画で発信することが出来た。	来年度も引き続き、早朝学習に毎日取り組み欠席・遅刻の少ないコースをめざす。 支援教室在籍生徒が増加して行く傾向は高いが、教科指導をしっかりとやることが課題である。コースの特色を活かした教科実習やさまざまな活動を通じて、将来の進路決定につなげさせる。 介護職員初任者研修を行う。 丁寧な言葉遣いを心がけ、教室の美化に努める。引き続きコース内の協力体制をしっかりと取って行く。
7 SG コース 全学年において、確実な学力の担保を図り、大学進学実績の向上をめざす。 SG コースにおいては、多様なカリキュラムを通じて実力を養い、さまざまな分野に興味・関心を持つ生徒を育てる。具体的には関関同立・四女子大学の合格者を複数出すことをめざす。全学年において、確実な学力の担保を図り、本校における大学進学実績の向上をめざす。	放課後・長期休業中の受験講座・指導を充実させる。 学内自習室を最大限活用し、生徒の実力を伸ばす。 早朝学習・大学見学会・進路講演会等を実施する。 生徒募集対策室・広報を中心に、募集・広報の体制を強化し、SG コース入学生生の増加を図る。 <u>学校自己評価、また保護者評価等を確認しながら、SG コース長とのヒアリングをもとに評価する。</u>	1 年生は、2 名の在籍。基礎学力の定着をめざし、様々な体験や人との交流を通じて、課題発見と課題解決能力を養うことをめざした。2 年生は、7 名の在籍。目標である模試の平均偏差値 50 には達していない。しかしながら数名は、国・数・英の三教科平均で CTZB2 (B2=偏差値 50) を記録した。英検 2 級には 4 名合格。英検準 2 級には 1 名合格。3 年生は 5 名在籍し、8 月に実施されたオーストリアでのグローバルリンクに参加した。また、4 名が英検 2 級を取得し、多くの生徒が成長を遂げた。特に英語の成績向上が顕著であった。関西学院大学や近畿大学など多くの生徒が志望校合格を果たした。	生徒募集対策室・広報・コースを中心に、募集・広報の体制を強化し、SG コース募集定員 20 名の専願による確保をめざす。 オンライン英会話や、学内自習室を最大限活用し、引き続き生徒の実力を伸ばす。その結果、進学実績を上げる。 早朝学習・大学見学会・進路講演会等を実施し、コースの教育内容を充実させる。

PLAN（重点目標）	DO（具体的取組み）	CHECK（自己評価）	ACTION（改善のための方針）
8 フリーアカデミーコース 特色ある授業や体験実習を通じて、素直で思いやりのある心を育てる。 多様な問題を抱える生徒、一人ひとりの状況に寄り添い、学校生活を楽しく送ることが出来るような環境を整える。 一人も取りこぼさず、進級・卒業をめざす。コースの基礎を確立する。	多様な問題を抱える生徒一人ひとりの状況に寄り添い、学校生活を楽しく送れるような環境を作る。 生徒との対話を重視し、定期的な面談を行う。 登校が難しい生徒に対しては、早めに保護者を巻き込んだ対応を行う。 学校設定科目や、探究の授業において、級友同士が交流を深められるようにする。 一人も取りこぼさず、進級をめざす。 生徒の状況に合わせた授業形態を整え、適切なフォローを行う。 教務や情報資料室など他部署と連携し、シームスやパノプトなどのシステムを効率的に運用し、関連の先生方への情報共有を行う。 システムの問題点を精査し、次年度への適切な引き継ぎを行う。 教科担当者との密な連携を行う。 <u>学校自己評価を参考に実施状況进行评估する。</u>	1年生20名全員の、進級を果たせた。 1学期当初は想像以上の登校率であり、非常によく頑張ってくれた。 夏休み明け、少し登校率が下がったこともあったが、ほとんどの生徒がきちんとオンラインで出席してくれていた。 ほとんど出席できなかった生徒2名がいたが、オンライン・オンデマンドを活用しながら（通信を用いた単位取得）進級につなげた。 コースの特性上、様々な仕事があり時間拘束も長かったが、2人担任で仕事を分担しながらスムーズに遂行することが出来た。	次年度も、コース生全員の進級をめざしたい。 また、2年生は将来の進路を考える1年間にしたい。 教務や情報資料室など他部署と連携し、シームスやパノプトなどのシステムを効率的に運用し、関連の先生方への情報共有を行いたい。 また、教科担当者との密な連携を行っていく。

PLAN（重点目標）	DO（具体的取組み）	CHECK（自己評価）	ACTION（改善のための方針）
9 学校施設・設備の充実を図り、清潔・安全な学校をめざす。 生徒の美化意識を高める。 保護者・生徒からの要望の強い食堂の抜本的な改革を、引き続き検討して行く。	視聴覚室の老朽化した機材を、最新の設備に入れ替える。 講話や清掃指導により、生徒の美化意識を高める。 グラウンド横の通路を整備する。 引き続き食堂の改革を検討して行く。 <u>学校自己評価における、「環境教育」の項目並びに、保護者評価「学校の設備・備品は、学習環境の面においてほぼ満足できるものである」</u> <u>「教室・特別教室・運動場などの施設は、活動しやすいように整備されている」</u> <u>「学校内は、清掃が行き届いていて、清潔である」の3項目において、評価の肯定率 70% 以上をめざす。</u>	視聴覚室については、予算の関係で次年度に行うことになった。 タブレットの活用およびアクティブラーニングを意識した授業は、増えつつある。 Eルーム(ICT 教室)は、活発に利用されている。 グラウンド横の通路については、教員の協力により夏に整備することが出来た。 ただ、抜本的な解決には至っていない。 生徒の美化意識を高めるための取り組みは、講話・清掃指導等により学校・各コースで進んでいる。 食堂の改革は、進んでいない。	次年度、視聴覚室の老朽化した機材を、最新の設備に入れ替える。 今後更に、学校の DX 化を進めていく。 引き続き、学校施設・設備の充実を図り、清潔・安全な学校をめざす。 保護者・生徒の要望の強い食堂については、次年度改革を行う。

PLAN（重点目標）	DO（具体的取組み）	CHECK（自己評価）	ACTION（改善のための方針）
10 広報の充実・強化、ホームページの更なる充実を図り、本校の魅力を積極的に発信出来る体制を確立する。 SNS 等による情報発信を、部活動だけでなくコースの教育内容を含めて強化する。	学校広報を強化し、本校のイメージアップを図る。 ホームページの情報発信を、更に充実させる。本校の斬新な広報を継続する。 各コースに担当を置き、SNS 等による情報発信を活発に行う。 <u>保護者評価「学校のホームページは充実している」において、評価の肯定率 70%以上をめざす。</u>	学校広報を強化し、本校のイメージアップを図ることは出来ている。 ホームページの情報発信についても充実してきている。 各コースに担当を置き、SNS 等による情報発信を行うことは出来た。また、各クラブが SNS による活動の発信を行っている。	引き続き、広報の充実・強化を図り、本校の部活動・コースの魅力を積極的に発信する。 SNS 等による情報発信を活性化させる。 また、各クラブが SNS による活動の発信を活発に行って行く。